

伊丹の防災

さらなる
安全・安心を
実現するまち
を目指して



itami 伊丹市

伊丹市では、「安全・安心のまちづくり」を重要施策として、ハード・ソフトの両面から様々な取組みを行っています。

市立学校施設の耐震化や屋外拡声器、雨水貯留施設の整備に加え、総合防災訓練の実施等、進歩に防災力を強化してまいりました。

この一環として、「伝える・知る・身を守る」という4つのキーワードを中心に、これら伊丹市の先進的な防災の取組みを市内内外の皆様にお示し、いつ発生するかわからない災害に備えていただくことを目的としております。

昨今、日本各地で災害が頻発しており、南海トラフ巨大地震の発生も予想されており、伊丹市は比較的平坦でコンパクトな地形であり、津波被害がなく(想定)、[安全で住みやすいまち]であります。また、災害時には情報や支援が迅速に行き届きやすいまちでもあります。

この一環として自身の安全・安心に繋がる伊丹市の取組みを広く知っていただき、市民の皆様の一ひとりが災害に備えていただくことで、「さらなる安全・安心」を実現し、「溢れるまち」に向けて大きく前進することを切に願っています。

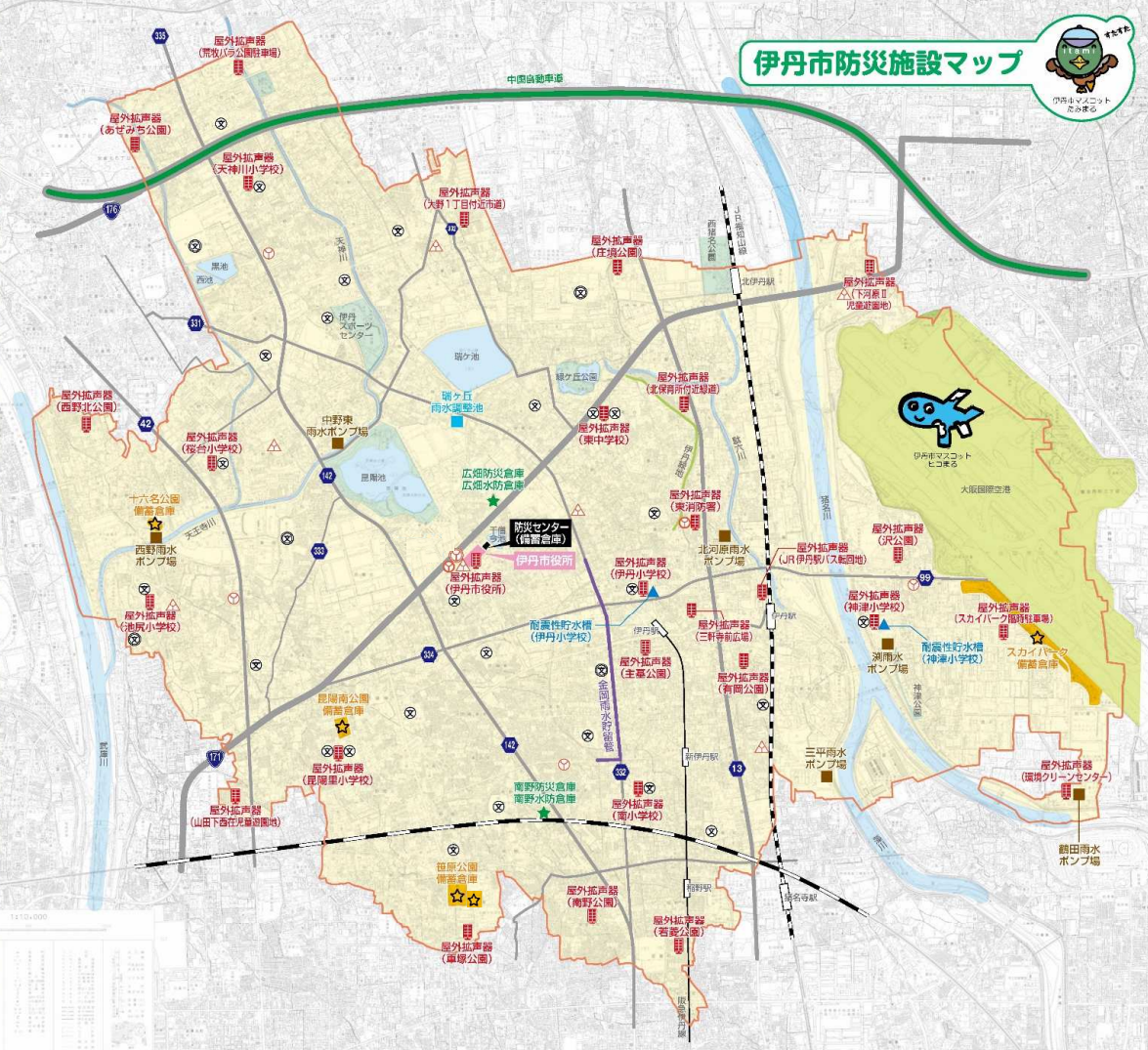
平成31年3月



伊丹市長 原 保 幸



伊丹市防災施設マップ



★ 防災・水防倉庫 / 水害時の防災活動を迅速に行うことができるよう必要な資機材を備えています	▲ 耐震性貯水槽 / 災害時に飲み水を貯める施設です
☆ 防災公園 / 災害時の初期救護や緊急輸送の中継拠点としての機能を担う公園です	■ 堀ヶ丘雨水貯留池 / 市立野球場の地下に建設しています
★ 備蓄倉庫 / 市内各避難所での避難生活、救護活動に必要な資機材や物品などを備蓄しています	— 金岡雨水貯留管 / 金岡雨水幹線が溢れるのを防ぐために黒道山本伊丹市線(五号橋線)の地下10mに作った施設です
📢 屋外拡声器 / Jアラート等と接続し、市の屋外全域に災害情報、避難情報等を発信します。	⊗ 小・中学校 ⊗ 高等学校
■ 雨水ポンプ場 / 放流先河川の水位が上昇し、水路の水が自然に河川に流れなくなった時にゲートを開けて河川へ強制的に排水する施設です	🚒 消防局 🚒 消防署 🚒 出張所 🚒 消防団

「災害に強いまち」の実現へ
大きな一歩を踏み出す

防災センター
(平成25年度運用開始)

防災中核機能、防災通信機能および物資集約機能を集めた防災拠点。

1階

- 啓発展示コーナー
- 災害時用備蓄倉庫

2階

- 防災無線室
- エフエムいたみ ライトスタジオ
- 様々な防災システム
- フェニックス防災システム
- Jアラート (全国瞬時警報システム)
- 衛星通信
- ネットワークシステム
- 雨量計
- 場所監視カメラ
- 地震計
- 河川カメラ (美濃川、武庫川の河川敷に設置。カメラの映像を防災センターで参照することができます)
- 災害対策本部設置・本部事務局

3階

- 災害対策室

屋外

- 非常用自家発電機・発水機

伊丹市からの
お願い

- ①各家庭や事業所において、最低3日間から1週間分の備蓄をお願いします
 - ②「伊丹市緊急災害情報メール」への登録をお願いします
 - ③家族等との災害時の伝言ダイヤルの確認をお願いします
 - ④あなたの地域の避難所の確認と避難所までの経路の確認をお願いします
- そして
- ⑤地域での見守り活動にご協力をお願いします

発行：伊丹市 総務部 危機管理室

〒664-8503 兵庫県伊丹市千原1丁目1番地
TEL:072-784-8166 (伊丹市防災センター2階)
ホームページ <http://www.city.itami.lg.jp>

伝える

屋外拡声器

緊急地震速報や避難情報など重要情報を市全域（主に屋外）に伝達するため、市内28箇所（主に公園）に設置しました（東部地区の公園）。全国統一警報システム（Jアラート）とも接続しており、各施設の非常放送設備から緊急地震速報等重要情報を自動で迅速に伝達します。また、年に数回、緊急地震速報等の訓練放送を実施し、シミュレーション訓練等、啓発活動にも取り組んでいます。



MCA無線機

市所などの行政機関、教育施設（市立小・中学校、私立高校）、医師会、共同利用施設など、半固定局や携帯局等を100機以上に設置しています。緊急時、固定電話や携帯電話が使用できない状況でも、危機管理室を中心に無線機同士で通信することができます。



学校放送設備への接続

市内すべての市立学校及び市役所にIP告知放送システムを整備。全国統一警報システム（Jアラート）とも接続しており、各施設の非常放送設備から緊急地震速報等重要情報を自動で伝達します。また、防災センターからの音放送や施設別の個別放送にも対応しており、防災訓練や啓発活動に活用しています。



伊丹市気象情報サイト

市内の気象情報や災害情報等について、伊丹市のHPに特設サイトを開設しています。市全域、より細かい気象情報等を把握でき、市民に対する的確、迅速な情報を伝えています。



情報伝達体制の充実

エフエムいたみサテライトスタジオ

防災センター及び消防団にエフエムいたみサテライトスタジオを整備。緊急時には、防災センター等よりエフエムいたみ（79.4MHz）に割り込み、情報提供の放送を行います。



緊急告知FMラジオ

災害時に、避難などの災害に関する正確な情報をいち早く入手してもらうために、土砂災害特別警戒区域等における住民及び災害被害軽減者支援制度に申し込みられた避難者や支援者の方に対して、緊急告知FMラジオを無償貸与しています。災害時には電源を切っただけでも、Jアラートと連動し、FMラジオが自動起動します。定期的な起動テストやJアラートと連携した緊急地震速報の訓練放送も行っています。



伊丹市緊急災害情報メール（いたみメール）

伊丹市緊急災害情報メールに登録していた方、災害に関する避難情報、震度4以上の地震が発生したときなどの避難情報メールでお知らせしています。

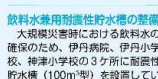
【登録方法】
itami@mm.itami.lg.jpにEメールを送信し、登録手続きを行ってください。
登録した事業所や団体、平成23年度まで学校施設の耐震化100%を達成、また、幼稚園施設、保育施設についてもそれぞれ平成25年度、平成27年度に耐震化100%を達成しました。



災害への備えを高める

防災公園・倉庫の整備

防災センターの他、市内4箇所の防災公園に倉庫を整備（豊岡南公園、十六名公園、豊原公園、伊丹スカイパーク）。長期保存可能な乾燥（アルファ化米、ソフトパン）、乳幼児用の粉ミルク、おもちゃ、備蓄トイレ、非常食等を備蓄しています。



飲料水兼用耐震性貯水槽の整備

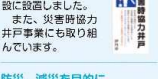
大規模災害時における飲料水の確保のため、伊丹南、伊丹小学校、津津小学校の3ヶ所に耐震性貯水槽（100m³型）を設置しています。大規模災害時における避難者の飲料水を確保することで、災害時の市民生活の安定を図っています。

市立学校園・保育所（園）の耐震化100%達成

平成7年の阪神・淡路大震災以降、学校施設の耐震化に努めてまいりました。平成21年度からは、「学校施設の安全安心宣言」（平成20年9月1日）に則り、急ピッチで耐震化事業に取り組み、平成23年度まで学校施設の耐震化100%を達成。また、幼稚園施設、保育施設についてもそれぞれ平成25年度、平成27年度に耐震化100%を達成しました。

避難所併用の設置

阪神・淡路大震災や東日本大震災などによる、不衛生なトイレや避難所での避難者の体調悪化を招き、被災者死亡の一因となりました。これに鑑み、災害時の避難所必須となる生活用水を確保する生活用水確保対策として、避難者の健康管理、衛生対策に資する防災併用を施設に設置しました。



防災、減災を目的に50台の防犯カメラを設置

防災の監視体制を強化し、本市を整備しております。1,000台以上の安全・安心防犯カメラには、50台の防災用カメラがあります。河川や中心市街地等に整備することで大規模の災害発生時の河川監視、迅速な救助体制や防犯カメラの活用にも役立っています。

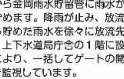
ポランティアアプリのご登録を!



雨水対策の推進

<1> 金岡雨水貯留槽

金岡雨水貯留槽は、金岡雨水幹線（排水面積470ha）が溢れるのを防ぐために豊山山本伊丹線（五号橋）の地下10mに埋設され、直径7m、延長1,150mにわたる雨水貯留槽です。本施設は、平成13年3月に供用を開始し、貯留量は40,000m³、大雨時に金岡雨水幹線が溢れそうになると取水口から金岡雨水貯留槽に雨水が流れ込み、一時的に雨水を貯めます。降雨が止み、放流先河川の水位が低下してから貯めた雨水を徐々に放流先河川にポンプで排水します。上下水道局庁舎の1階に設置されている遠方監視装置により、一括してゲートの開閉状況や貯留槽の溜水状況を監視しています。



<2> 瑞ヶ丘雨水調整池

瑞ヶ丘地区、瑞穂地区の浸水被害を抑制するため、雨水調整池を瑞ヶ丘球野の地下に建設しています。平成17年3月に供用を開始し、貯留量は2,500m³となっています。

<3> 雨水ポンプ場

雨水ポンプ場は、放流先河川の水位が上昇し、水路の水が逆流に河川に流れなくなった場合にゲートを閉めて河川に強制排水する施設です。河川水位より低い位置の雨水排水をするために極めて重要な施設です。伊丹市では、6箇所の雨水ポンプ場を整備しています。

- 西野雨水ポンプ場
- 洲野雨水ポンプ場
- 鶴田雨水ポンプ場
- 中野雨水ポンプ場
- 三平雨水ポンプ場
- 北河原雨水ポンプ場



備える

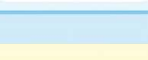
事業所等との連携

災害時対応協定は、本市と行政機関や民間事業者、各種団体等との間であらかじめ協定を締結し、災害時における人的、物的支援についての協力を確保するためのものです。大災害が発生した際の初期対応として重要で、被災者への食料、生活物資の供給、緊急物資の輸送等を実施するためには、民間事業者などをはじめとした各種団体の協力が不可欠なものとなっています。

伊丹市では、迅速かつ広域的な災害対策を実施できる体制を構築するため、事業者などと協定を締結しています。

いたみ災害サポート登録制度

災害発生時の活動は、主に市などの防災機関により実施されますが、地域での「自助」「共助」が、被害軽減、早期復旧に欠かせないものとなります。そこで、地域に定住する事業者等の持つ人材や資機材、技術などの協力により、自助体制の強化を図り、災害時の被害軽減をこの目的とした制度です。市内の事業者等に登録をいただいています。



自主防災組織

自主防災組織は、大規模な災害が起きたときに、地域住民が互いに助け合い、被害を軽減するために結成される組織です。「自分たちの地域は自分たちで守ろう」とする住民の自主的な活動でいざというときは、初期消火・応急手当・避難誘導などを行います。平常時は、防災訓練や啓発活動を行っています。例えば、自主防災訓練や地域の防災啓発イベント、地域での防災マップ作成等を行っており、必要に応じて協定連携し、防災啓発活動にも力を入れて取り組んでいます。



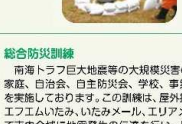
出前講座

この講座は、「伊丹市まちづくり基本条例」に基づき、市民の方々に学習の機会を提供することが目的となっています。ご希望の開催や場所に市職員が出向き、進められたテーマについて、わかりやすくお話しするものです。危機管理室でも、防災・減災をテーマとしたものや、避難行動要支援者支援制度についてのテーマなど、随時申し込みを受け付けております。これらも、自治会や福祉協議会など、地域のみなさんが防災について考える良い機会として整備していただいています。



水防工法訓練

洪水や集中豪雨に備え「水防工法訓練」を毎年、行っています。この訓練は、河川敷の堤防が浸水したときや避難路水などを想定し、消防団員や消防団員等が「せき杭工法」や「蓋板工法」「シート工法」など被害軽減に役立つ工法を行います。また、グリラ車、ポンプ等、雨水対策の工法も行います。



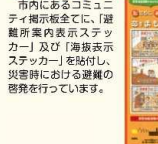
防災啓発コーナー

平時より防災資機材や備蓄品等の展示、資料の閲覧を行っています。また、市民や防災等の防災学習や研修等を実施するための啓発活動のスペースとしても使用します。



伊丹市洪水ハザードマップの作成

本市を流れる著名な川、武庫川およびその支川の堤防が壊れたり、堤防を越え水があふれたりした場合の浸水予測結果に基づいて、浸水する範囲とその水深を明らかに各地区の避難所等とした洪水ハザードマップの作成を行い、周知しています。



土砂災害ハザードマップの作成

急傾斜地の崩壊のおそれがある区域として、本市では「土砂災害特別警戒区域等」が指定されています。土砂災害から市民の生命を守るため、土砂災害が発生するおそれがある区域について、危険の周知を図るため、土砂災害ハザードマップを作成しています。また、土砂災害警戒区域に居住の世帯に対し、緊急告知FMラジオの貸与など、その周知を行っています。

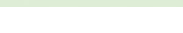


地域ハザードマップへの作成支援

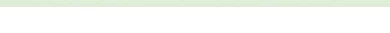
大規模な災害発生による「地域の安全な地域で暮らす」という目標の達成を支援するために、地域ハザードマップの作成支援を行っています。



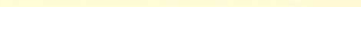
知る



災害への意識の向上



避難のための啓発



身をを守る

